



## WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦 会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30～ ■例会場:ホテルシーズン日南

■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内

TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第3411例会	No. 30	2025.3.5	
点鐘・ロータリーソング	12時30分 「奉仕の理想」		
四つのテスト	西田 誠悟 君		
例会行事	結婚・誕生者卓話		

## 会長時間



3月3日はひな祭りでした。私には娘がいませんので、どのようなものなのかよく知りません。ということで、今日はひな祭りについてお話しします。ひな祭りは、日本の伝統行事の一つとして、特に女兒の健やかな成長と幸せを願う目的で行われています。3月3日に行われるこの行事は、「桃の節句」や「雛の節句」とも呼ばれ、家族が一堂に会して楽しむイベントとしても親しまれています。また、桃の花や雛人形、特別な料理など、多様な文化的要素が含まれており、古代から現代に至るまでの文化的進化を象徴しています。ひな祭りは、もともと中国の「上巳節（じょうしせつ）」という風習が日本に伝わったもので、穢れを祓い健康を祈る行事として始まりました。上巳節は、旧暦の3月初めの巳の日に行われた行事で、人々が川で体を清める「禊（みそぎ）」を通じて穢れを祓い、健康を祈るものでした。現代では、家族が集まり、女兒が主役となる特別な日として祝われています。この行事の中心的な目的は、女兒の健やかな成長と未来の幸せを願うことです。そのため、雛人形や特別な料理を飾り、華やかな雰囲気の中で祝います。また、桃の花を用いることで、春の訪れや生命力を象徴すると同時に、家族の絆を深める役割も果たしています。そして、ひな祭りが「桃の節句」と呼ばれる理由は、旧暦の3月3日がちょうど桃の花が咲く季節であったためです。桃は、古代中国では邪気を祓う力があると信じられており、日本でもその文化が取り入れられました。桃の花の持つ生命力や華やかさ、そして雛人形の優雅さは、ひな祭りを象徴する重要な要素です。これらの名称には、春の訪れや家族の幸せを願う意味が込められています。日本の伝統行事としての位置づけは、ひな祭りは、日本の五節句の一つであり、文化的に非常に重要な位置を占めています。五節句とは、1年を通じて季節の節目を祝う行事のことで、1月7日の人日（じんじつ）の節句、または七草の節句、3月3日の上巳（じょうし）の節句、または桃の節句、5月5日の端午の節句、または菖蒲の節句、7月7日の七夕（しちせき）の節句、または笹竹の節句、9月9日の重陽の節句、または菊の節句と5つの行事を指します。五節句の日は、1月7日を除いて同じ奇数が重なる日です。1月1日の元旦は別格とされ、1月7日が節句に取り入れられています。ひな祭りの歴史は、古代中国から伝来した風習を起源に持ちながら、長い年月をかけて日本独自の文化として発展してきました。時代ごとにその形や意味が変化しつつも、共通して人々の健康や幸福を祈る行事として親しまれています。この風習は、日本には奈良時代から平安時代にかけて伝わり、宮廷文化の中で取り入れられました。当初は「人形（ひとがた）」に自分の穢れを移し、川に流すことで厄災を遠ざける儀式として行われていました。この風習は現在の「流し雛」の起源となっています。そして平安時代に貴族の間で広まり、江戸時代には武家や庶民にも普及しました。平安時代に、ひな祭りの原型はさらに洗練された形で発展しました。特に貴族階級の子供の間で流行したのが「ひいな遊び」と呼ばれるもので、小さな人形を使って家庭生活を模した遊びを行っていました。「ひいな」という言葉は「小さいもの」や「愛

らしいもの」を意味し、そこから人形を使った遊び全般を指すようになりました。この時代の「ひいな遊び」は、単なる娯楽以上に、子供の健やかな成長や厄除けを願う意味が込められていました。「雛の節句」という名称は、平安時代の貴族の子女が「ひいな遊び」という遊びをしていたことに由来します。室町時代になると、現在の雛人形の原型ともいえる「立雛（たちびな）」が登場し、雛祭りの形式が徐々に確立していきました。この時代、ひな祭りは上流階級の間で重要な年中行事として広まり、雛人形が婚礼の象徴として用いられるようになりました。江戸時代に入ると、雛人形や雛段飾りが豪華さを増し、庶民の間にも普及していきました。特に江戸中期には、「五人囃子」や「三人官女」を含む十五人揃いの豪華な雛段飾りが一般化し、現在の雛祭りの基本形が完成しました。また、段数も増え、装飾品の種類も豊富になりました。明治時代以降、雛祭りは庶民の間で広く普及し、日本全国で祝われるようになりました。特に住宅事情の変化や生活スタイルの変化により、コンパクトな三段飾りや親王飾りなどが主流となり、多様化が進みました。また、戦後の復興期には、雛祭りを通じて家族の絆を深める文化的価値が再認識されました。現代では、雛人形の生産地や種類も多様化し、地域ごとの特色ある風習が残るなど、伝統行事としての側面と地域文化の融合が見られます。雛祭りは今もなお、日本の季節を彩る大切な行事として親しまれています。ひな祭りは日本の家族文化や地域の伝統を象徴する重要なイベントです。このような行事を通じて、日本の豊かな文化遺産が次世代に受け継がれています。さて、ひな祭りは、美しい雛人形や飾り付けを通じて、日本の伝統的な美意識や文化を象徴する行事です。その飾り付けには、さまざまな種類の雛人形や飾り方があり、それぞれに歴史や意味が込められています。こうした飾りは、ただの装飾品としてだけでなく、家族の絆や地域ごとの特色を感じられる重要な文化的要素でもあります。雛人形は、ひな祭りの中心的な飾りとして欠かせない存在ですが、その種類には、地域ごとの特色が表れており、その中でも代表的なものが「京雛」と「関東雛」です。京雛は、京都で製作される雛人形のことで、特徴として「おっとりとした表情」や「細やかな衣装の意匠」が挙げられます。伝統的な美意識を重視し、顔の表情は細めで穏やかな印象を与えるものが多いです。関東雛は、関東地方で製作される雛人形で、「はっきりとした目鼻立ち」や「鮮やかな衣装」が特徴です。京雛に比べて現代的なデザインが採用されており、力強さと華やかさが際立ちます。これらの違いは、地域の文化や美意識の差を反映しており、購入する際の好みや家族の背景によって選ばれています。続いて雛段飾りですが、これはひな祭りを象徴する重要なアイテムであり、その構成や配置には深い意味が込められています。内裏雛は、段飾りの最上段に置かれる「男雛（おびな）」と「女雛（めびな）」のペアで、天皇と皇后を象徴しています。これらの人形は、婚礼を模したもので、家庭の平和や繁栄を祈る意味があります。次の段には三人官女が飾られます。これらの人形は宮中で天皇や皇后に仕える女官を表しており、婚礼の準備をする様子を表現しています。三段目には五人囃子が配置されます。これは能楽における囃子方を模したもので、宴を盛り上げる役割を担っています。さらにその下の段には衛士や雑務を行う男性が並べられ、家庭の守りや繁栄を象徴します。このような雛段飾りの配置は、平安時代の宮廷文化を反映したものであり、家族の幸福や子供の健やかな成長を願う象徴として大切にされています。ひな祭りの飾りには、地域ごとに独特のスタイルがあり、その中でも代表的なものが「吊るし雛」と「御殿飾り」です。吊るし雛は、布で作られた小さな人形や飾りを糸で吊るし、ひな祭りの時期に飾るもので、福岡県の「さげもん」や静岡県の「雛のつるし飾り」、山形県の「傘福」が有名で、これらは「日本三大つるし飾り」とも呼ばれています。吊るし雛には、「衣食住に困らないように」という願いが込められています。御殿飾りは、上方文化を反映した飾り方で、建物の中に内裏雛を配置し、宮中の様子を再現するものです。紫宸殿（ししんでん）を模した華やかな装飾が特徴で、大正時代から昭和初期にかけて流行しました。これらの地域ごとの特色ある飾り方は、ひな祭りの多様性を象徴しており、全国各地でそれぞれの文化や伝統が受け継がれています。ひな祭りには、行事を彩る特別な料理やお菓子が数多く存在します。これらの食べ物には、ただ美味しさを楽しむだけでなく、子供の健康や家族の幸せ、長寿などの願いが込められています。それぞれの料理やお菓子には深い意味があり、ひな祭りの食文化を通じて日本の伝統的な価値観や美意識が感じられます。

ひな祭りを彩る代表的な食べ物には、「菱餅」、「雛あられ」、「ちらし寿司」などがあります。菱餅は、赤、白、緑の三層に重ねられた餅で、それぞれの色に特別な意味があります。赤は邪気を祓う、白は純潔を表す、緑は健康を象徴するとされています。この菱餅の三色の色は、季節の移り変わりや自然との調和を象徴しており、春の訪れを祝う意味があります。

雛あられは、丸い形をした小さなあられで、地域によって甘いものと塩味のものがあります。このあられには、「子供の健やかな成長」と「未来の幸せ」が願われています。ちらし寿司は、色とりどりの具材を乗せた華やかな寿司で、エビは長寿、レンコンは見通しの良さ、豆は健康や真面目さなど、それぞれの縁起物として具材にも意味が込められています。

ひな祭りの食文化は、ただ食べるだけでなく、料理やお菓子に込められた意味を知ること、より一層深い楽しみを感じることができます。はてさて私は今後、ひな祭りを祝うことができるかどうか。息子たちに期待したいと思います。

## 幹事報告

1. 日本事務局より、3月のロータリーレートのお知らせが届いております。
  - ・ 今月のレートは、1\$ = 150円 となっております。(前月のレートは、1\$ = 154円)
2. 一般社団法人 比国育英会バギオ基金より“バギオだより” 3月号が届いております。
3. 国際ロータリー日本事務局より、「水と衛生月間リソースのご案内」が届いております。
4. (公益財団法人) 宮崎県国際交流協会より、  
協会誌 「Soth Wind (サウインド) Vol 106号」が届いております。

## 委員会報告

### ○親睦委員会

3月26日(水)18時30分から観桜会となっています。今回の余興は本年度RIテーマである『ロータリーのマジック』並びに2730地区の目標である『ロータリーのマジックでロータリーを楽しもう』にちなみまして、昨年台風の為中止となったサマー親睦会で開催する予定でしたマジシャンによるマジックを親睦委員会副委員長の榎木田君が手配していただきました。皆様多数のご参加をよろしくお願いします。

## 例会行事

### = 結婚・誕生者 卓話 =

- <結婚> 鬼束忠男君 (1975年3月2日) 渡邊眞一郎君 (1991年3月3日)  
小玉 淳君 (1967年3月26日) 河野通郎君 (1978年3月20日)  
<誕生> 落丸正博君 (1948年3月2日) 西田誠悟君 (1972年3月26日)



鬼束忠男君 (結婚)

3月2日が50年という。幾多の逆境を乗り越えてきた結婚記念日でした。50年は、金婚式という節目ですが、先人の言葉に、「過去の因を知らんと欲せば、其の現在の果を見よ、未来の果を知らんと欲せば、其の現在の因を見よ」。本当に苦しく大変な時がありました。政治学者の姜尚中の「悩む力」にこそ、生きる意味への意志が宿ると言っている。私が、毎日、先人、偉人が書いた名言集の日めくりカレンダーを読んで、過ごしています。

\*千里の行も足下にはじまる。(老子)解釈・目標は大きく見通し、実践は足元の積み重ねである。

\*私は負けない、何故なら勝までやるからだ。(本田宗一郎)解釈・失敗を敗北の経験に終わらしてはならない 試練はよいからだ。

\*不可能とは、臆病者の言いわけなり。(ナポレオン・ボナパルト)解釈・最後の1%をあきらめない人に成功の奇跡は約束される。

\*約束は必ず守りたい。(菊池寛)解釈・約束を守らない人は、人々の中にいらなくなり、やがては、人生の落伍者になる。

\*希望は、ものを生み出す原動力。(松下幸之助)解釈・力が出ないのは希望がないからだ。続かないのは目標がないからだ。

\*情熱がなければ、偉大なことは、何ひとつ達成できない。(ラルフ・エマーソン)解釈・出来ないこととしないことは別だ。

\*「一を以て之を貫く」(孔子)解釈・我が生涯を一つの職業に、つらぬける人は幸せである。

\*人の一生は重荷を負って、遠き道を行くが如し。(徳川家康)解釈・不自由を常と思えば不足なく、欲望がおこれば、困窮した時を思い出す。世は堪忍が第一である。

\*人間とは一日中に何百遍も菩薩となり、たえまなく変化している。(吉川英治)解釈・人間だれしも仏心に近づきたいと念じつつ、悪の道も捨てきれない。愚かしいものだ。

まだありますが、良く人は楽観主義で行けと言いますが、楽観主義と楽天主義は、どう違うのか、楽観主義は、物事や事態のなりゆきが良い方向に向かうだろうと、捉える考え方で楽天主義は、目の前の課題に対して、「なんとかなると考えても何もしない」ということです。誠実で謙虚な心で楽観主義で生きたいと思います。





### 小玉 淳君 (結婚)

結婚記念日のお祝いをいただきありがとうございます。今年で結婚何年目になるのかなあ  
と考えるのに今年ほど簡単な年はありません。昭和100年です。結婚した年が42年で  
したので58年目を迎えます。長い歳月を共に過ごしてきた私たち夫婦には、多くの思い出  
がございますし、まだもう少しは思い出作りが続けられるのではまいいかと思っております。  
京都で結婚式を挙げて800CCのマツダファミリアに乗って日南までドライブしながらや  
ってきました。3人の女の子を授かり大学にやり、3人のうち一人に婿を取って会社を継  
がそうと目論んでおりましたが、3人ともに遠くの男どもに乗っ取られてしまいました。

今になってみればこれでよかったとも思っています。仕事はリタイヤしましたがまだロータリーメンバーとして日南クラ  
ブに在籍し楽しんでます。地域社会貢献としては高齢者クラブの会計として、また保育園の評議員もしています。また  
プライベートでは裏千家茶道の教室も開いていました。しかし、昨年8月8日の大地震とその後の大雨や台風によって、  
自宅が大きなダメージを受けました。私たちは父の代からの自宅を解体せざるを得なくなり、辛い日々を過ごしました。  
そんな中で、土屋さんをはじめ黒岩さん、入中さん、鬼束さん達クラブメンバーの皆さんにお助けをいただきました。本  
当に感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんのおかげで私たち夫婦は困難を乗り越えることができました。真夏の暑い中で  
の引っ越しのための片づけには娘たちはもちろんのこと、娘の同級生の人たちが大勢で駆けつけてくれました。私たちは  
年には勝てず無理がたたってしまい、夫婦そろって体調を崩してしまいました。最近は病院通いの日々が続いています。  
子供たちも心配してくれ、「早めに自分たちのところへ来て」と言ってくれますが、この土地で作り上げた数々の思い出や、  
巡り合った人々との絆を考えるとなかなか踏み切りがつかず悶々としているのも事実です。しかし、この困難な経験を通  
じて、家族や友人、そしてクラブメンバーの皆さんとの絆の大切さを改めて感じています。私たち夫婦はこの土地で多く  
の素晴らしい思い出を作り、多くの方々と出会うことができました。その絆が私たちの力となり、これからも前向きに歩  
んでいく決意を新たにしています。今少しの間お付き合いいただければありがたいです。女房殿はなんとコメントするか  
解りませんが、今年度も夫婦生活を円滑にするために寛容、忍耐、妥協の精神で歩んでまいりたいという言葉で結婚記念  
日のスピーチを締めくくりたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

### スマイル

斉藤 篤史君 先日、次男が高校を卒業しました。3年間バスケットボールお疲れ様でした。

楽しませてくれてありがとう。専門学校でも楽しんで、そして資格取得頑張ってください。

峰松 俊夫君 ①先週の例会を早退して、串間RCへ今後の地区方針について説明してきました。

英会長より承諾の署名をもらうことができました。すこし、ホットしています。

②3月1日の宮崎日日新聞に2月22日のシンポジウムの記事が掲載され、氏名が出ていました。

鬼束 忠男君 結婚50周年を迎えました。又、わかば奨学生の孫が宮大医学部に合格しました。

### 出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	H C 出席	M U	欠席	出席	出席率(%)
今 週	30	7(3)	27	19	3	5	22	81.48%
出席免除	落丸、清水、渡邊、							
先取M U	石灘、黒岩、古澤							
欠 席	榎木田、黒武者、齋藤奈々、豊田、日高							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斉藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jp まで送信してください